

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

親子ふれあい大会

1月17日、上平公民館体育室で、上尾市青少年育成連合会上平地区会議主催の「新春親子ふれあい大会」が行われました。子ども会の親子が対象で、子どもたちは約60〜70人が参加していました。

上平地区会議・斎藤会長のあいさつから始まり、ジュニアリーダーによる紙芝居、上尾マジッククラブによるマジックショーが続けて行われ、子どもたちは真剣に見つめていました。

終わった後は昔遊びです。



遊びながら触れ合う親子

ベリーグマ、こま回し、けん玉、羽根突きなど、たくさんの遊びの中から、子どもたちはそれぞれ自分のやりたい遊びを選びました。一番人気だったのが割り箸鉄砲。岡田副会長に説明を受けながら、みんな一生懸命作っていました。箕の木地区から来たという小学3年生の女の子2人は、上手に羽根突きで遊んでいました。二人はこの催しに毎年来ています。半年前に東京から引っ越してきたというお母さんは、友達と羽根突きをする娘さんの姿をうれしそうに見つめていました。芝川小5年生の男の子と、お父さん・お母さんが羽根突きをしている様子も見られました。親子の触れ合いを感じる、とてもいい光景でした。

この催しは、ジュニアリーダー9人、シニアリーダー1人のサポートで行われました。ジュニアリーダーの一人である高校1年生の池阪さんは、「中学1年生でジュニアリーダーになりました。いろいろな子ども会の行事に出掛けていますが、とても楽しいです」と話してくれました。子どもたちが妹や弟みたいでかわいいのですね。シニアリーダーの渡邊さんも、中学1年生からリーダーをやっているそうです。この春からの就職が決まったそうですが、これからも続けていきたいと言っていました。

上平地区
のさきとしこ
野崎 敏子 さん



市民の情報交流スポット



おいでください

- 全日本写真連盟 SKP 支部写真展 4月7日(火)~12日(日)10:00~18:00(12日は16:00まで)、さいたま市プラザノースギャラリー(北区宮原町1-852-1) ☎ 杉本 090-4170-8052 (10:00~18:00) **ひと言!** SKPの写真教室で勉強した成果の作品が全紙で74点。
- 第20回桃の花コンサート 4月12日(日)14:00~16:00、上尾市コミュニティセンター ☎ 1,500円 ☎ 北原 773-4410 **ひと言!** 中心メンバー4人によるコンサート。お楽しみください。
- 四季を詠う「詩吟講座」 4月24日(金)13:30~15:00、上尾市文化センター ☎ 石川 725-8748 **ひと言!** 日本の美しい四季を詩吟で綴る楽しい講座。初心者歓迎。
- 伝統文化上尾いけばなこども教室 4月25日~28日2月27日(8月を除く)の原則毎月第4(土)(全10回)10:00~11:00、谷津公民館 ☎

- 18人 ☎ 6~15歳 ☎ 1回1,200円(花代含む)前期・後期に分けて前納 ☎ 4月23日(木)までに電話で ☎ 奥山 775-5622 **ひと言!** 生け花を学びながら季節の花に触れ豊かな心を育みます。
- 大人の英会話・韓国語講座入門 5月12日~7月14日の毎週(火)19:30~20:45(全10回)、上尾市文化センター ☎ 8,000円(全10回分) ☎ 5月1日(金)までに電話で ☎ 前田 090-6489-2803(10:00以降) **ひと言!** 見て聞いて話す。ネイティブ講師と楽しく学習します。

いきいきサークル 会員・団員募集

- 上尾警察署ひまわり少年剣道教室 ①毎週(火)18:00~20:30②毎週(木)17:30~20:30③毎週(日)13:00~18:30、上尾警察署道場 年額小学生10,000円 中学生6,000円 菅野 080-1032-1670(14:00~17:00) **ひと言!** 基本から丁寧に教えています。ぜひ見学・体験を。
- 丸山公園絵画会 毎月第2・4(金)13:00~16:00、自然学習館 月額5,000円(入会金2,000円) 栗田 726-0758 **ひと言!** 一緒に絵心を楽しみませんか。4月に会員の作品展あり。
- スターダストキッズ(ダンス) 毎週(火)17:10~18:50、桶川サンアリーナ ☎ 小学1~5年生 月額3,000円 小太刀 726-5875(20:00

- まで) **ひと言!** 少人数で楽しく活動しています。一緒に踊りませんか。
- 山びこ会(山に登る会) 毎月1回(火)19:15~21:00、上尾市コミュニティセンター ☎ 山に登れる人 年額4,000円 大竹 725-5958(20:00まで) **ひと言!** 月1回日帰り山行、年2回宿泊山行。一緒に登ろう!
- 陸彩会(墨絵教室) 毎月第1・3(木)10:00~12:00、上尾市コミュニティセンター 月額4,000円 田村 771-2834(17:00以降) **ひと言!** ご希望の方は当日の体験学習(無料)においでください。
- 英会話ノエル 毎月4回(木)10:00~11:30、上尾公民館 ☎ 初・中級程度で20歳以上 月額3,300円(体験料500円) 望月 771-0515(17:00以降) **ひと言!** 本物のアメリカ英語を楽しく学びませんか?
- マーガレットの会(トールペイント) 毎月第4(木)10:00~12:00、上平公民館 月額1,500円(入会金1,000円)会場費50円 藤井 773-7934(17:00まで) **ひと言!** 体験(3回)あり。4月16日までに要問い合わせ。
- いけばなサークルひつじ会 毎月第2・4(金)10:00~11:30、原市公民館 月額3,000円 長島 722-7196 **ひと言!** 季節のお花を生けて楽しみたい方、老若男女問わずに。

☎…定員 ☎…対象 ☎…費用 ☎…持ち物 ☎…申し込み ☎…当日、直接会場へ

スポット ライト

～人・仲間～

二人に共通すること。それは前向きで、とにかく好奇心旺盛なこと。

昨年10月、埼玉県から「彩の国健康鉄人」に認定された渡邊恭子さんと平田好子さんは、自身の健康を保ち、食や文化活動を通じて地域の健康づくりを支えています。

年齢を感じさせない美しい姿勢と豊かな表情。ことし創立40周年を迎える上尾市フォークダンス連盟会長として指導しているのが渡邊さんです。「フォークダンスは曲によってステップが変わります。頭も使うのでそれが健康に役立っているのかもしれない」と話します。フォークダンスを通じて世界中の音楽に触れた渡邊さんは、「ルーツを探るためメキシコやロシアなど世界各国を巡りました」と好奇心旺盛で行動的な一面をのぞかせます。健康の秘訣を尋ねると「積極的に人や社会と関わること。そして立ち止まらずに少しずつでも前進すること」と話してくれました。「これからもフォークダンスをやる人を見る人、ともに喜んでもらえるように努力を続けたいですね」と話す言葉に、フォークダンスへの情熱をうかがい知ることができま



わたなべ 渡邊 恭子さん (仲町在住)
ひらた 平田 好子さん (平塚在住)

The life of a great person

健康を支えるのは好奇心と行動力

彩の国健康鉄人に認定

した。

一方の平田さんは「今日行くところがある 今日やることがある 一日一日を楽しく過ごすことがモットーです」と話すとおろり、充実した日々を過ごしています。

もともと食に興味があった平田さんは退職後、調理師免許を取得。その後、上尾市食生活改善推進員協議会の会員になり、食を通じた健康づくりの案内役として長年にわたり活躍しています。また太極拳やカラオケなど多くの趣味を持ち、仲間と一緒に楽しんでいます。「日中はほとんど家にはいません。私が今一番欲しいものは時間ですね」と話すとおろり、手帳には予定がぎっしり書き込まれていました。

10年以上毎日欠かさず続けているという散歩とラジオ体操。「これからはずっと続けていきますよ。若い人にはまだまだ負けません」と笑顔で話す姿が印象的でした。

生きがいを見付け、それぞれのステージで活躍する渡邊さんと平田さん。体だけではなく心の健康も兼ね備えた二人は、これからもたくさんの方の輝きを放つことでしょう。

※「彩の国健康鉄人」…埼玉県が進める健康長寿埼玉プロジェクトの一環。県内在住の心身ともに健康な80歳以上で、地域活動・運動(スポーツ)・文化活動などで顕著な活動をしている人を認定する制度。



「クイズ アッピーを探そう!」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は3月号です。

⇒広報広聴課 ☎775-4918・FAX776-8873 ※内容は一部要約しています。



特集1 春うらら桜散歩

- 桜散歩は良いですね!お弁当を持って、ゆったりと行ってみたいです。公園でバドミントンなんかも楽しそう♪ (40代女性)
- 上尾にこんなにたくさん桜を見られる所があるとは思いませんでした。地図も見やすく、行ってみたいという気持ちになりました。 (70代男性)
- 記事を見ていたら、暖かい春と桜が待ち遠しくなりました。 (40代男性)

春になるとあちこちで咲き誇る桜。上尾にはたくさんのお弁当スポットがあります。桜の木の下で食べるお弁当なんて最高ですよ♪ 皆さんもぜひ出掛けてみてはいかがでしょうか。意外なお弁当スポットが発見できるかも。



上尾歴史散歩(菖蒲住還の町場～原市～)

- 毎日何度も通るさいたま菖蒲線(旧道)。やっぱりあの道は馬車通っていたんですね。今でも通り沿いの家の多くがウナギの寝床のような細長い敷地で、昔の名残が見られます。 (60代女性)
- 「原市」という地名の由来の真実を知り、とても驚きました。さいたま市の吉野原の「原」だったとは「目からうろこ」で意外でした。今後市内の地名について、昔の姿を教えてください。楽しみにしています。 (60代男性)

昔の面影が残っている原市の街並み。歴史をひもとく改めて調べてみると、地名の由来など、さまざまなことが発見できますね。

「広報あげお」は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。

